

株主の皆さまへ

証券コード：9888

— 第54期中間報告書 —

2007年4月1日～2007年9月30日





株主の皆さま方には常日頃、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
 当社は昭和30年設立のステンレス専門商社ですが、この1年間は過去50数年間で全く経験のない大きな環境の変化がステンレス業界で起きました。
 長年にわたり世界一のステンレス生産国であったわが国は、昨年その首位の座を中国に明け渡しました。中国は500万トンを超える生産国となり、名実ともに世界一のステンレス大国となりました。またステンレスの生産に欠かせないニッケルは昨年来高騰を続けておりましたが、5月にLMEで史上最高値をつけた後6月から急落を始め、値動きの予測が難しい展開となっております。ニッケル相場の乱高下や中国の動向はステンレス市況に大きな影響を与え、市場の行方を読みにくいものしております。
 このような状況の中でも、国内景気は緩やかながらも拡大を継続し、大企業を中心に設備投資が底堅い需要を見せていることや円安を背景にした輸出企業向けの物件などが好調であったため、当社は第一四半期の好決算が大きく寄与し当中間期において史上最高の売上と利益を達成することができました。これを受けて中間配当として1株当たり30円を実施することにし、また10月1日には市場での流動性を高め滑らかな価格形成を促すため1:2の株式分割を実施しました。
 原油高や米国景気の先行きが見通せないことなどから、市場には不透明感がただよっていますが、当社はアンテナを高くし他社との差別化を鮮明にすることによって、これからも収益基盤の充実に努め、株主の皆さまのご期待にこたえていく所存ですので、今後ともより一層のご支援をお願い申し上げます。

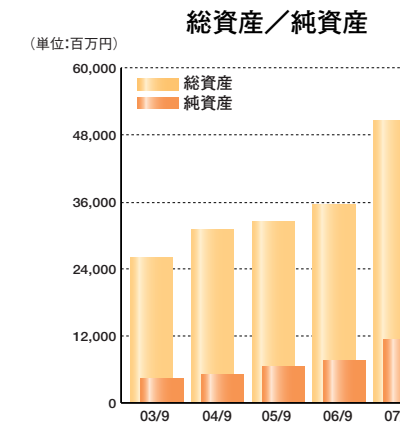
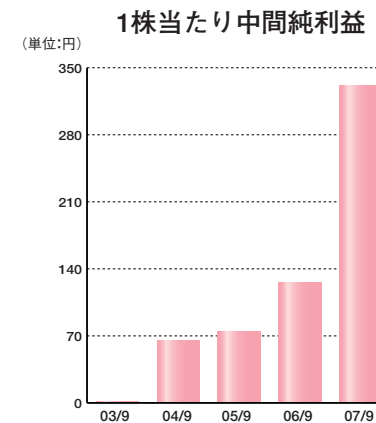
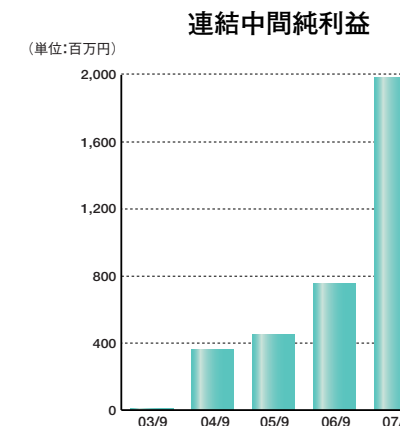
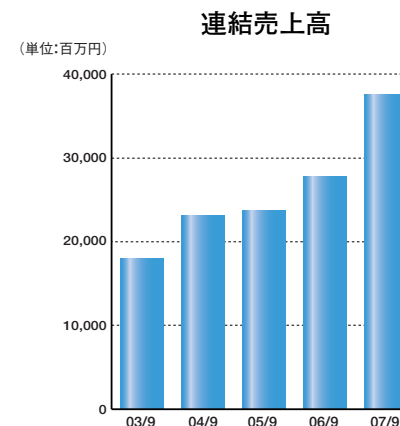
2007年11月

代表取締役社長 押本 俊明

CONTENTS

- 社長ごあいさつ1
- 連結財務ハイライト2
- 事業の概況3
- UEXグループ会社一覧4
- 株主アンケート結果のご報告5
- トピックス6
- 財務セクション7
- 株式の状況9
- 会社概要10

	03/9	04/9	05/9	06/9	07/9
連結売上高(百万円)	18,010	23,155	23,753	27,740	37,576
連結中間純利益(百万円)	4	358	443	748	1,980
1株当たり中間純利益(円)	0.67	64.61	73.97	124.96	330.63
総資産(百万円)	25,994	30,988	32,500	35,473	50,546
純資産(百万円)	4,335	5,033	6,491	7,637	11,318



事業の概況

当中間期におけるわが国経済は、緩やかな景気拡大局面の中にあつて、製造業を中心とする企業収益の改善を背景に設備投資が増加するなど、好調に推移しました。

このような状況の中で、当社企業集団の主力事業であるステンレス鋼その他金属材料の販売事業が好調に推移したため、当中間期としての連結売上高は37,576百万円と前中間期に比べ35.5%増加し、連結経常利益は3,363百万円と前中間期に比べ2.6倍となり、連結中間純利益は前中間期と比べ2.6倍となる1,980百万円を計上しました。なお、当中間期の連結売上高、連結中間純利益はいずれも過去最高となりました。

＜ステンレス鋼その他金属材料の販売事業＞

ステンレス鋼の原料であるニッケルの国際価格が本年5月まで高騰したことによりステンレス鋼の仕入価格は上昇しましたが、堅調な需要を背景に販売価格の改定を進めることができました。しかし期の後半においては、国際ニッケル価格が急落したことによる市場でのステンレス鋼の先安感から、需要家の買い控え現象が生じました。このような状況の中で、当中間期を通じては、売上高は36,078百万円と前中間期に比べ35.5%増加し、営業利益は3,374百万円と前中間期に比べ2.6倍となりました。



＜ステンレス鋼その他金属加工製品の製造・販売事業＞

中国における造管事業は、工場稼働率が高水準で推移したことにより収益が改善しましたが、国内の金属加工事業は、受注は順調に拡大したもののステンレス鋼をはじめとする原材料費の高騰他により製造コストが増大し、収益が悪化しました。このような状況の中で、売上高は620百万円と前中間期に比べ12.8%増加しましたが、営業利益は前中間期6百万円の赤字から一転し、9百万円の赤字となりました。



＜機械装置の製造・販売及びエンジニアリング事業＞

機械装置の製造・販売事業においては、造管機・圧延機関係の生産・販売が堅調に推移しました。エンジニアリング事業においては、食品関連設備等を中心に好調に推移しました。このような状況の中で、売上高は878百万円と前中間期に比べ56.3%増加し、営業利益は44百万円と前中間期に比べ3.2倍となりました。



UEXグループ会社一覧

単位：百万円

事業区分	会社名	資本金	出資比率 (%)	売上高		事業内容
				07/9実績	06/9実績	
【第1セグメント】 ステンレス鋼等の販売	UEX(当社)	1,512	—	36,621	26,775	ステンレス鋼等の在庫加工販売
	UEX管材	12.8	79.4	905	743	鋼管、鋼材、継手類の販売
	日進ステンレス	20	100	816	680	半導体装置用ステンレス鋼管の販売事業
	UTS	10	45	64	105	ステンレス鋼製座金の販売
	ステンレス急送	10	100	201	209	貨物自動車運送業
【第2セグメント】 加工製品の製造・販売	ステイド	40	63.8	147	126	各種インテリア製品の設計・製造・販売
	大崎製作所	15.5	100	381	382	有圧換気扇ウェザーカバーのOEM生産
	上海UEX	千US\$ 470	100	98	42	鋼管加工製品の製造・販売
【第3セグメント】 機械装置 エンジニアリング	上野エンジニアリング	60	90	707	496	一般産業用機械装置の設計・製作
	三益UEX	10	100	234	136	鋼管製造用機械の製造・販売

セグメント別の状況

単位：百万円

		【第1】 ステンレス鋼 等の販売	【第2】 加工製品の 製造・販売	【第3】 機械装置 エンジニアリング	消去又は全社	連結
07/9期	売上高	36,078	620	878	—	37,576
	前年同期比	(+35.5%)	(+12.8%)	(+56.3%)	(—)	(+35.5%)
	営業利益	3,374	—9	44	24	3,433
	前年同期比	(+162.9%)	(—)	(+219.1%)	(+5.8)	(+159.0%)
06/9期	売上高	26,629	550	562	—	27,740
	営業利益	1,283	6	14	23	1,326

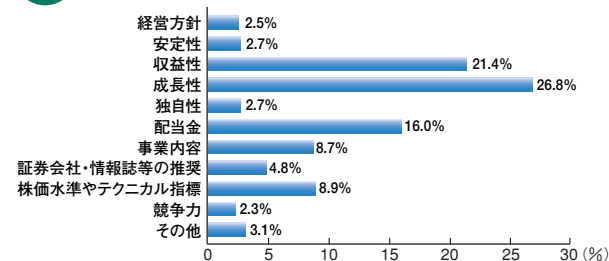
- ステンレス販売事業は販売価格の続伸により売上・営業利益とも大幅増加。
- 加工製品事業は中国の造管事業が改善するものの、国内事業の原材料高騰等による製造原価増大の影響により営業赤字。
- 機械・エンジニアリング事業は堅調な需要に加え提案型営業による新規需要分野開拓もあり大幅な改善。

株主アンケート結果のご報告

「株主の皆さまへ 第53期報告書」で実施させていただきましたアンケートには、約300名の株主の皆さまからご回答いただきました。厚く御礼を申し上げますとともに、アンケート結果をご報告いたします。

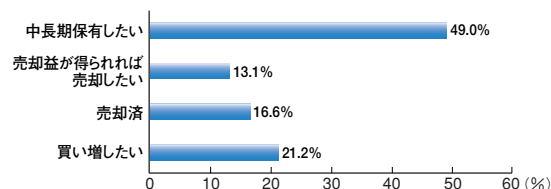
お寄せいただきました貴重なご意見を踏まえまして、株主の皆さまのご期待にお応えできるように今後一層努力してまいります。

Q1 当社株を購入された理由は?



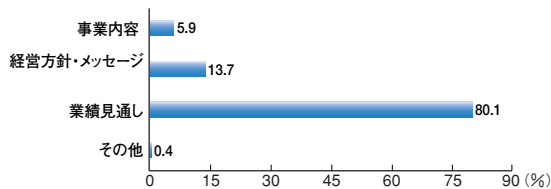
購入された理由として「成長性」、「収益性」続いて「配当金」が主な理由にあがっています。また、「株価水準」や「事業内容」についても、約1割の方が購入の理由にあげています。

Q2 当社株の今後の保有に関する方針をお聞かせください



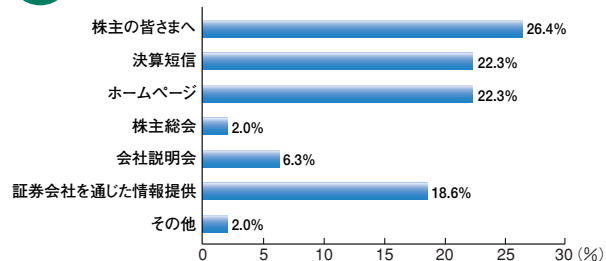
約半数の方は、短期売買より中期保有を目的として保有しています。また約2割の方は「買い増したい」との方針をお持ちです。

Q3 今後当社からの情報として何を知りたいですか?



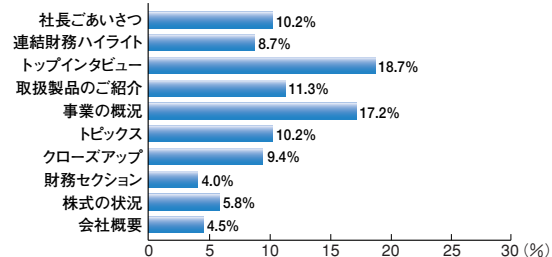
「成長性」と「収益性」および「配当金」を重視されていることから、大半の方が「業績見通し」を最も知りたい項目にあげています。

Q4 当社のIR活動として何を充実させてほしいですか?



IR活動としては、多くの方が「株主の皆さまへ」、「決算短信」、「ホームページ」での情報の充実を希望しています。

Q5 今回の「株主の皆さまへ」の内容で興味をもたれたものはどれですか?



前回の「株主の皆さまへ」では、「トップインタビュー」と「事業の概況」を、約2割の方に興味を持ってお読みいただきました。その他の項目についてもより内容を充実させてまいります。



トピックス

「ひも付き」と「店売り」とは?

当社の取扱主力商品であるステンレス鋼材の商流についてご説明しましょう。

商社として流通の一環を担う当社は、ステンレス鋼製造業者（以下「メーカー」）および需要家（以下「ユーザー」）双方のニーズを調整するという大きな役割を担っていますが、ステンレス鋼材がメーカーで製造されてから最終ユーザーに届くまでの商流には、下図の通り大きく二つの流れがあります。一つは「ひも付き販売ルート」（通称「ひも付き」）、もう一つは「店売り販売ルート」（通称「店売り（みせうり）」）です。

「ひも付き」とは、メーカーから見て最終ユーザーの顔が見えている商流で、ユーザーとの間で品種・サイズ・数量・価格・納期などを個別に取り決めた上で、製品を製造します。この個別の契約条件の合意に際し、当社はメーカーとユーザーの間であって交渉を円滑に進める重要な役割を果たします。最終需要家が大手ユーザーの場合は、メーカーとユーザーが契約諸条件について直接取り決めることもあります。マージンはメーカーとの間で予め取り決めます。「ひも付き」は「店売り」に比べるとリスクが少なく、かつ在庫にかかる資金コストおよび管理コストが小さい分、マージンも相対的に低いのが特徴です。

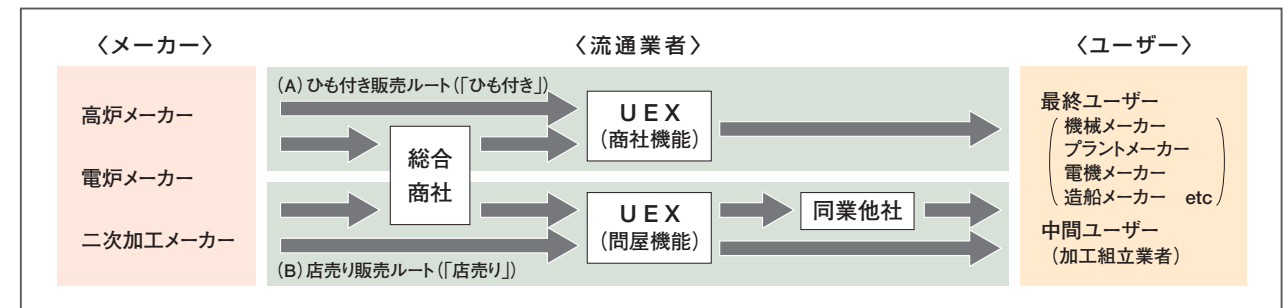
これに対し「店売り」とは、メーカーから見て在庫機能を有する問屋向けの商流です。メーカーにとって効率の良い標準サイズ・ロットで生産された製品を、当社は自らの倉庫にいったん在庫し、特殊サイズ、小ロット、短納期といったメーカーでは対応できないユーザーのニーズに対し、在庫機能・

切断加工機能を活用して応えています。当社の販売先は多岐にわたり、同業他社である商社や問屋仲間に販売することもあれば、最終ユーザーへ直接販売することもあります。在庫を抱えるという資金負担や売れ残りリスクがある分、マージンは高く設定するのが普通です。ただし、市況に左右されやすいため、市況が軟化している局面ではマージンを低く設定せざるを得ない場合もあります。

「ひも付き」と「店売り」の扱い高の比率は、市場の情勢によっても異なりますが、当社の場合、概ね50:50という割合になります。

以上述べたとおり、当社はユーザーとメーカー双方のニーズを調整しながら両者をブリッジするために、円滑な物流・加工機能、支払い条件の差を埋める金融・与信機能、需給の時間差を調整する市場調節機能（ダム機能）などを主な役割としています。また当社の特徴としては、ステンレス鋼材の大きな特徴である「耐腐食性」「耐熱性」が必要とされる主に製造業者の工場生産設備に必要なステンレス部材を「ひも付き」「店売り」の両ルートから供給しています。我々はこれを「生産財」と呼んでいます。生産財としてのステンレス鋼材を扱う専門商社としては国内でトップであり、同業他社に比べ強い競争力を持っています。また品揃えの豊富さも当社の大きな特徴で、いつでもどこでも要求どおりの製品をお届けできる、という機能によって、需要家の皆さまから高く評価されております。

なお、当社の戦略商品であるチタンも、概ねステンレスと同様の商流にて販売しております。



財務セクション

中間連結財務諸表の要旨

中間連結貸借対照表

単位：千円

資産の部	第54期(当中間期)	第53期(前中間期)
	2007年9月30日現在	2006年9月30日現在
流動資産	40,811,888	25,930,198
現金及び預金	3,190,321	1,008,604
受取手形及び売掛金	23,252,586	17,594,721
たな卸資産	13,582,681	6,788,938
繰延税金資産	310,537	193,590
その他	590,805	441,592
貸倒引当金	△115,043	△97,247
固定資産	9,734,065	9,543,020
有形固定資産	7,010,294	7,146,598
建物及び構築物	841,802	907,448
機械装置及び運搬具	484,831	566,556
土地	5,575,821	5,575,821
その他	107,479	96,774
建設仮勘定	360	-
無形固定資産	271,582	133,883
のれん	63,411	105,684
その他	208,171	28,199
投資その他の資産	2,452,190	2,262,540
投資有価証券	1,976,092	1,411,284
長期滞留債権	73,370	62,948
繰延税金資産	10,371	339,552
その他	465,953	511,742
貸倒引当金	△73,596	△62,986
資産合計	50,545,953	35,473,219

単位：千円

負債の部	第54期(当中間期)	第53期(前中間期)
	2007年9月30日現在	2006年9月30日現在
流動負債	36,176,430	24,695,694
支払手形及び買掛金	28,595,181	16,330,987
短期借入金	5,512,941	7,025,466
未払法人税等	1,303,304	585,209
賞与引当金	409,684	335,763
その他引当金	-	-
その他	355,319	418,270
固定負債	3,051,097	3,140,449
長期借入金	1,325,320	1,371,965
退職給付引当金	576,878	690,798
繰延税金負債	24,525	-
再評価に係る繰延税金負債	1,041,984	949,623
その他	82,389	128,064
負債合計	39,227,527	27,836,143
純資産の部		
株主資本	9,241,547	5,741,917
資本金	1,512,150	1,512,150
資本剰余金	1,058,008	1,058,008
利益剰余金	6,675,845	3,176,215
自己株式	△4,456	△4,456
評価・換算差額等	2,046,684	1,870,138
少数株主持分	30,195	25,021
純資産合計	11,318,426	7,637,076
負債・純資産合計	50,545,953	35,473,219

中間連結損益計算書

単位：千円

	第54期(当中間期)	第53期(前中間期)
	2007年4月1日～2007年9月30日	2006年4月1日～2006年9月30日
売上高	37,576,053	27,740,376
売上原価	31,174,350	23,542,953
売上総利益	6,401,704	4,197,424
販売費及び一般管理費	2,968,878	2,871,758
営業利益	3,432,826	1,325,665
営業外収益	72,222	67,705
営業外費用	142,112	113,205
経常利益	3,362,936	1,280,164
特別利益	16,608	29,933
特別損失	9,231	2,486
税金等調整前中間純利益	3,370,313	1,307,611
法人税、住民税及び事業税	1,288,564	580,678
法人税等調整額	98,736	△23,412
少数株主利益	2,938	1,987
中間純利益	1,980,074	748,358

中間連結キャッシュ・フロー計算書

単位：千円

	第54期(当中間期)	第53期(前中間期)
	2007年4月1日～2007年9月30日	2006年4月1日～2006年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,765,229	△869,009
投資活動によるキャッシュ・フロー	△189,828	△45,482
財務活動によるキャッシュ・フロー	△243,075	△5,841
現金及び現金同等物に係る換算差額	941	△193
現金及び現金同等物の増減額	1,333,267	△920,525
現金及び現金同等物の期首残高	1,857,054	1,929,128
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,190,321	1,008,604

※記載金額は、千円未満を四捨五入表示しております。

中間連結株主資本等変動計算書

単位：千円

第54期中間期 (2007年4月1日～2007年9月30日)	株主資本				株主資本合計	評価・換算差額等				少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		その他有価証券 評価差額金	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
2007年3月31日残高	1,512,150	1,058,008	4,995,214	△4,456	7,560,916	636,965	1,291,815	△4,793	1,923,986	28,025	9,512,927
中間連結会計期間中の変動額	-	-	△299,443	-	△299,443	-	-	-	-	-	△299,443
剰余金の配当	-	-	△1,980,074	-	△1,980,074	-	-	-	-	-	△1,980,074
中間純利益	-	-	1,980,074	-	1,980,074	-	-	-	-	-	1,980,074
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)	-	-	-	-	-	118,553	-	4,145	122,698	2,170	124,868
中間連結会計期間中の変動額合計	-	-	△1,680,631	-	△1,680,631	118,553	-	4,145	122,698	2,170	1,805,499
2007年9月30日残高	1,512,150	1,058,008	6,675,845	△4,456	9,241,547	755,518	1,291,815	△649	2,046,684	30,195	11,318,426

中間個別財務諸表の要旨

中間個別貸借対照表

単位：千円

資産の部	第54期(当中間期)	第53期(前中間期)
	2007年9月30日現在	2006年9月30日現在
流動資産	38,889,259	24,726,193
現金及び預金	2,815,255	690,446
受取手形	11,450,334	7,184,495
売掛金	11,130,618	10,031,468
たな卸資産	12,748,007	6,298,515
繰延税金資産	283,466	175,864
その他	576,748	444,240
貸倒引当金	△115,169	△98,836
固定資産	10,225,669	10,052,329
有形固定資産	6,577,970	6,689,219
建物	691,657	747,643
土地	5,390,593	5,390,593
その他	495,721	550,983
無形固定資産	204,867	20,463
投資等	3,442,832	3,342,647
投資有価証券	2,680,054	2,158,902
長期滞留債権	801,082	330,705
繰延税金資産	-	601,619
その他	521,871	581,745
貸倒引当金	△560,175	△330,324
資産合計	49,114,928	34,778,522

単位：千円

負債の部	第54期(当中間期)	第53期(前中間期)
	2007年9月30日現在	2006年9月30日現在
流動負債	35,378,551	23,947,007
支払手形	19,878,430	10,187,577
買掛金	8,555,350	5,991,453
短期借入金	5,055,120	6,600,120
未払法人税等	1,251,469	540,423
賞与引当金	360,800	294,400
その他	277,381	333,035
固定負債	2,948,864	3,006,901
長期借入金	1,286,320	1,291,440
退職給付引当金	517,882	635,337
繰延税金負債	17,421	-
再評価に係る繰延税金負債	1,041,984	949,623
その他	85,256	130,501
負債合計	38,327,415	26,953,908
純資産の部		
株主資本	8,758,031	5,965,303
資本金	1,512,150	1,512,150
資本剰余金	1,058,008	1,058,008
利益剰余金	6,192,329	3,399,601
自己株式	△4,456	△4,456
評価・換算差額等	2,029,482	1,859,310
純資産合計	10,787,513	7,824,614
負債及び純資産合計	49,114,928	34,778,522

中間個別損益計算書

単位：千円

	第54期(当中間期)	第53期(前中間期)
	2007年4月1日～2007年9月30日	2006年4月1日～2006年9月30日
売上高	36,620,604	26,774,735
売上原価	30,811,562	23,058,058
売上総利益	5,809,042	3,716,677
販売費及び一般管理費	2,542,317	2,504,204
営業利益	3,266,725	1,212,473
営業外収益	132,820	129,200
営業外費用	134,304	108,255
経常利益	3,265,241	1,233,418
特別利益	15,061	24,713
特別損失	274,040	2,169
税引前中間純利益	3,006,262	1,255,963
法人税、住民税及び事業税	1,236,698	535,889
法人税等調整額	104,001	△23,998
中間純利益	1,665,563	744,072

中間個別株主資本等変動計算書

単位：千円

第54期中間期 (2007年4月1日～2007年9月30日)	株主資本					株主資本合計	評価・換算差額等			純資産合計		
	資本金	資本剰余金 資本準備金	利益剰余金 利益準備金	その他利益剰余金 別途積立金	繰越利益剰余金		その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計			
2007年3月31日残高	1,512,150	1,058,008	340,125	2,130,000	2,356,084	4,826,209	△4,456	7,391,911	620,040	1,291,815	1,911,854	9,303,765
中間会計期間中の変動額	-	-	-	-	△299,443	△299,443	-	△299,443	-	-	-	△299,443
剰余金の配当	-	-	-	-	△1,870,000	△1,870,000	-	-	-	-	-	-
別途積立金の積立額	-	-	-	1,870,000	-	1,870,000	-	-	-	-	-	-
中間純利益	-	-	-	-	1,665,563	1,665,563	-	1,665,563	-	-	-	1,665,563
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額)	-	-	-	-	-	-	-	-	117,628	-	117,628	117,628
中間会計期間中の変動額合計	-	-	-	1,870,000	△503,880	1,366,120	-	1,366,120	117,628	-	117,628	1,483,748
2007年9月30日残高	1,512,150	1,058,008	340,125	4,000,000	1,852,204	6,192,329	△4,456	8,758,031	737,668	1,291,815	2,029,482	10,787,513

株式の状況 (2007年9月30日現在)

● 発行可能株式総数 11,200,000株

● 発行済株式の総数 6,000,000株

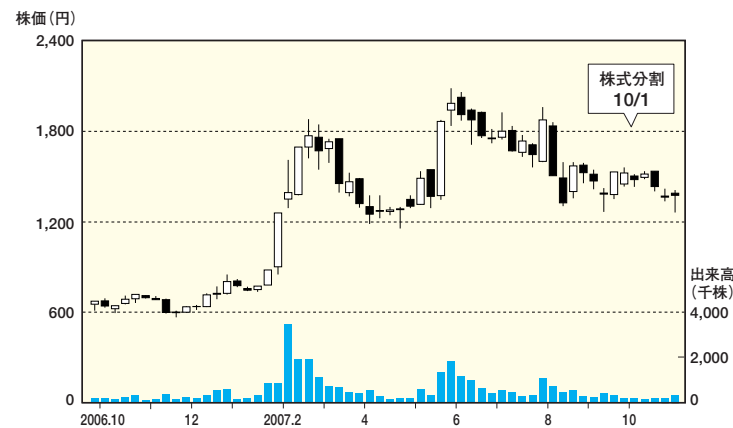
※2007年10月1日付で1株につき2株の株式分割を行い、発行可能株式総数は22,400,000株、発行済株式の総数は12,000,000株となりました。

● 株主数 3,056名

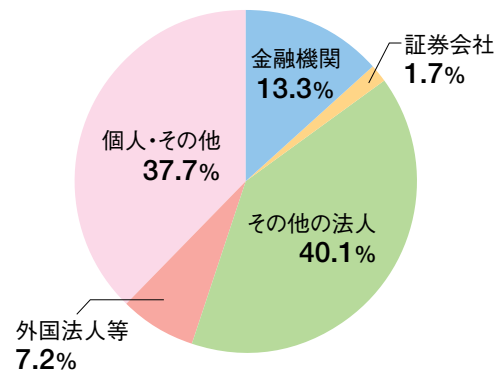
● 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
株式会社メタルワン	854千株	14.2%
住友商事株式会社	600千株	10.0%
三井物産株式会社	569千株	9.5%
株式会社みずほ銀行	274千株	4.6%
上野竹枝	211.5千株	3.5%
UEX社員持株会	173.5千株	2.9%
日本証券金融株式会社	152.3千株	2.5%

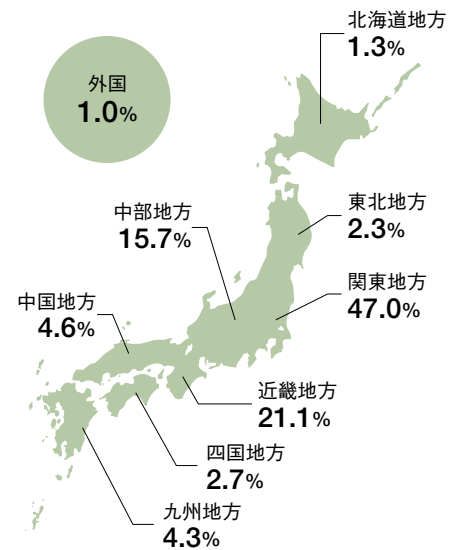
● 株価チャート (2006年10月～2007年10月)



● 所有者別株式分布状況



● 地域別株主分布状況



会社概要 (2007年9月30日現在)

社名 株式会社UEX

英文商号 UEX, LTD.

設立 1955年1月14日

代表者 押本 俊明

資本金 15億1,215万円

従業員数 318名 (2007年9月30日現在)

主要販売先 (株)東芝 (株)IHI (株)荏原製作所
新日本製鐵(株) 日本フイツシヤ(株)

主要仕入先 <メーカー> 新日鐵住金ステンレス(株) 新日本製鐵(株)
住友金属工業(株) 大同特殊鋼(株)

<商社> 山陽特殊製鋼(株) 愛知製鋼(株)
(株)メタルワン 住友商事(株) 三井物産(株)
日鐵商事(株) 伊藤忠丸紅鉄鋼(株)

役員
 名誉会長 小田 保中
 代表取締役社長 押本 俊明
 常務取締役 岸本 則之
 常務取締役 本田 純一
 取締役 石松 陽一
 上席執行役員 有沢 茂
 上席執行役員 一廣 長臣
 上席執行役員 岡崎 誠一郎
 執行役員 遠田 宏
 執行役員 千葉 正夫
 常勤監査役 藤井 誠
 常勤監査役 板倉 忠義
 社外監査役 小川 秀史郎
 社外監査役 松本 光史

本社 〒140-8630 東京都品川区東品川2-2-24
天王洲セントラルタワー5F
TEL 03(5460)6500 FAX 03(5460)6409

大阪支店・大阪配送センター

九州支店・九州配送センター

北陸支店・北陸配送センター

東北支店・東北スチールサービスセンター

名古屋営業所・名古屋配送センター

関東営業所

東海営業所

三島スチールサービスセンター

第一伊勢原スチールサービスセンター

第二伊勢原スチールサービスセンター

東京配送センター



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
定時株主総会基準日	毎年3月31日
期末配当基準日	毎年3月31日
中間配当基準日	毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同取次所	お問い合わせ先 0120-232-711 (通話料無料)
公告掲載方法	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 東京都において発行する日本経済新聞 当社は、貸借対照表ならびに損益計算書を当社ホームページに 掲載いたしております。 http://www.uex-ltd.co.jp/

UOX (ウエックス) は日本最大級のチタン・ステンレス流通業者です。

ステンレス

チタン

スーパーステンレス


UOX最新ニュース

- 2007.11.8 平成20年3月期中間決算発表
- 2007.8.2 平成20年3月期第1四半期決算・業績の概況
- 2007.8.2 株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更に関するお知らせ
- 2007.8.2 株式分割に伴う平成20年3月期期末配当手続の届出に関するお知らせ
- 2007.7.2 第83期(平成18年3月期) 報告書

お問い合わせ先
本社 〒140-8630 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー5F
TEL.03(5460)6500 FAX.03(5460)6409

Copyright©2004 UEX, LTD All Rights Reserved.

<http://www.uex-ltd.co.jp/>

 株式会社 **UEX**

〒140-8630 東京都品川区東品川2-2-24

Tel.03-5460-6500 Fax.03-5460-6409

 R100

 PRINTED WITH
SOY INK

地球環境に配慮した大豆由来インキを使用しています